

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2001-150600 (P2001-150600A)  
 【公開日】平成 13 年 6 月 5 日 (2001.6.5)  
 【出願番号】特願 平 11-341065  
 【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/00 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/32 (2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 27/00 1 0 4

B 3 2 B 27/32 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

融点が 100 以下であるポリオレフィン系樹脂 (b) を含有する両表面層 (S 層) と少なくとも 1 層の内層 (C 層) と少なくとも 1 層の中間層 (M 層) とからなる少なくとも 4 層構成の多層フィルムであって、C 層が、ビニル芳香族化合物ブロックと共役ジエン化合物ブロックとからなるブロック共重合体の水素添加誘導体 (a1) と、ポリプロピレン系樹脂、ポリエチレン系樹脂、ポリブテン - 1 系樹脂からなる群より選ばれる少なくとも 1 種の重合体 (a2) を含有し、(a1) : (a2) = 95 重量% : 5 重量% ~ 5 重量% : 95 重量% であり、かつ、(a1) の量が対全層で 1 ~ 25 重量% であり、M 層が、密度が 0.865 ~ 0.910 g / cm<sup>3</sup> で、重量平均分子量 (Mw) / 数平均分子量 (Mn) が 3.0 以下であるエチレン・ - オレフィン共重合体 (m) を含有し、且つ、前記多層フィルムの、120 (熱風、30 分) における熱収縮率が縦方向及び横方向共に 20 % 以上、90 % 以下であるストレッチシュリンク多層フィルム。

【請求項 2】

S 層がエチレン - 酢酸ビニル共重合体であることを特徴とする請求項 1 記載のストレッチシュリンク多層フィルム

【請求項 3】

M 層がエチレン・ - オレフィン共重合体であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のストレッチシュリンク多層フィルム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0011  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明のフィルムは、1) ポリオレフィン系樹脂 (b) を含有する両表面層 (S 層) と少なくとも 1 層の内層 (C 層) と、少なくとも 1 層の中間層 (M 層) とからなる少なくとも 4 層構成の多層フィルムにおいて、C 層が、ビニル芳香族化合物ブロックと共役ジエン

化合物ブロックとからなるブロック共重合体の水素添加誘導体 (a 1) と、ポリプロピレン系樹脂、ポリエチレン系樹脂、ポリブテン - 1 系樹脂からなる群より選ばれる少なくとも 1 種の重合体 (a 2) を含有し、(a 1) : (a 2) = 95 重量% : 5 重量% ~ 5 重量% : 95 重量% であり、かつ、(a 1) の量が対全層で 1 ~ 25 重量% であり、M 層が、密度が 0.865 ~ 0.910 g / cm<sup>3</sup> で、重量平均分子量 (M<sub>w</sub>) / 数平均分子量 (M<sub>n</sub>) が 3.0 以下であるエチレン・ - オレフィン共重合体 (m) を含有し、且つ、前記多層フィルムの、120 (熱風、30 分) における熱収縮率が縦方向及び横方向共に 20 % 以上、90 % 以下であるストレッチシュリンク多層フィルム、

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

2) S 層がエチレン - 酢酸ビニル共重合体であることを特徴とする 1) のストレッチシュリンク多層フィルム

3) M 層がエチレン・ - オレフィン共重合体であることを特徴とする 1) 又は 2) のストレッチシュリンク多層フィルム